

宇治市 開浄水場(地下水)の存続を訴えます！

開地区自治連合会 開ヶ丘自治会 一里丘住宅地自治会 第二次水道問題対策委員会

止める理由、なにひとつない開浄水場

市水道部の3つの嘘

その1 水質悪化

開の水は栗隈山系の地下水。清澄で恒温性・うまみの多い良い水に変わりなし。

その2 発ガン性物質

原水中の揮発性物質には、発ガン性はない。京都府保健所と関係部局は、安全・安心な水と、昨年4月と5月調査結果を公表。

その3 老朽化・経費が高い

ポンプの交換だけが必要。しかも06年度に購入しながら、交換されず。必要経費は71万4000円(市水道部は老朽化に7千100万円と発表)地下水は安い、原水はタダ。

地下水は、災害時の市民の命綱

久保田市長がお願い

開浄水場用地の寄付(2003年)

「浄水場施設は貴社より移管を受け、今日まで施設更新を行いながら開地域に水道の給水が続けてまいりましたし、今後も給水事業を継続していく責任もございませう。今日までの歴史的経緯を勘案いただき、また地域に対する社会還元として公共用地(水道用地)に無償寄付することについてご検討いただきたく、お願いをするものでございます」(原文)

日産車体は、地下水継続のため、水道用地として、無償で寄付

故渡辺市長は住民に約束(1976年)

地下水は市が責任を持って給水する。この水を孫末代まで飲めます。議会も全会一致で承認。

地下水を保全・活用する市政を！